



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 河本 宏文 TEL 042-769-1513
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	20,828	—	945	—	1,092	—	625	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 592百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	35.87	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	41,080	13,334	32.1
2019年3月期	40,647	13,006	31.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,166百万円 2019年3月期 12,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期までの実績はありません。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	2.7	1,800	16.1	2,300	8.5	1,200	△44.8	68.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	20,547,413株	2019年3月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,100,000株	2019年3月期	3,100,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	17,447,413株	2019年3月期1Q	一株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、当社は2018年10月1日に単独株式移転によりブックオフコーポレーション(株)の完全親会社として設立されたため、前第1四半期連結累計期間との対比については記載しておりません。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。このたび当社グループが2021年3月期に30年目を迎えるにあたって中期経営方針を策定いたしました。この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げました。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げてまいります。

基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供していましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当第1四半期連結累計期間に各店の地域特性に応じた取扱い商材の追加を推進するとともに、BOOKOFF SUPER BAZAAR 5号札幌宮の沢店、BOOKOFF SUPER BAZAAR イトーヨーカドー流山店、BOOKOFF 総合買取窓口 経堂農大通り店の出店、マレーシアでの「Jalan Jalan Japan」4号店の出店、物流倉庫内業務の効率化推進等に取り組みました。また、「ひとつのBOOKOFF」を実現するべく、アプリ会員向けのサービス施策の充実や電子買取システムのフランチャイズ加盟店向け展開のほか、ECサイト「BOOKOFF Online」を活用したオムニチャネル化並びにO2O戦略を推進するべく、積極的な投資を行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高20,828百万円、営業利益945百万円、経常利益1,092百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益625百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は23,976百万円(前連結会計年度末は23,765百万円)となり、211百万円増加しました。商品が843百万円増加、その他流動資産が250百万円増加した一方で、現金及び預金が832百万円減少したことが主な要因です。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は17,104百万円(前連結会計年度末は16,882百万円)となり、222百万円増加しました。有形固定資産が268百万円、無形固定資産が185百万円増加した一方で、繰延税金資産の減少等で、投資その他の資産が231百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は27,746百万円(前連結会計年度末は27,640百万円)となり、105百万円増加しました。法人税、配当金の支払い等の資金需要に対し銀行借入で対応したため、借入金が増加した一方で、賞与の支払い等によりその他の引当金が238百万円減少、その他流動負債が687百万円減少したこと等が主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は13,334百万円(前連結会計年度末は13,006百万円)となり、327百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、剰余金の配当を実施したこと等が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に発表した公表数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,142	5,310
売掛金	1,590	1,540
商品	12,915	13,759
その他	3,122	3,373
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	23,765	23,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,770	3,965
リース資産(純額)	1,352	1,412
その他(純額)	810	822
有形固定資産合計	5,932	6,200
無形固定資産		
のれん	84	262
その他	1,120	1,127
無形固定資産合計	1,204	1,390
投資その他の資産		
差入保証金	7,530	7,487
その他	2,274	2,086
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,744	9,513
固定資産合計	16,882	17,104
資産合計	40,647	41,080

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	431	367
短期借入金	5,926	7,875
1年内返済予定の長期借入金	3,716	3,256
リース債務	348	365
未払法人税等	135	128
売上割戻引当金	546	523
店舗等閉鎖損失引当金	44	96
その他の引当金	469	230
その他	4,899	4,211
流動負債合計	16,518	17,056
固定負債		
長期借入金	7,775	7,287
店舗等閉鎖損失引当金	29	24
資産除去債務	1,747	1,780
リース債務	1,159	1,185
その他	410	413
固定負債合計	11,121	10,690
負債合計	27,640	27,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,489	6,489
利益剰余金	8,571	8,935
自己株式	△2,343	△2,343
株主資本合計	12,817	13,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158	120
為替換算調整勘定	△131	△135
その他の包括利益累計額合計	27	△14
非支配株主持分	161	167
純資産合計	13,006	13,334
負債純資産合計	40,647	41,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	20,828
売上原価	7,796
売上総利益	13,032
販売費及び一般管理費	12,086
営業利益	945
営業外収益	
持分法による投資利益	18
設備賃貸収入	82
自動販売機等設置料収入	32
古紙等リサイクル収入	101
その他	38
営業外収益合計	274
営業外費用	
支払利息	39
設備賃貸原価	76
その他	11
営業外費用合計	127
経常利益	1,092
特別損失	
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	58
固定資産除却損	9
特別損失合計	67
税金等調整前四半期純利益	1,024
法人税、住民税及び事業税	86
法人税等調整額	304
法人税等合計	391
四半期純利益	633
非支配株主に帰属する四半期純利益	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	625

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	633
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△14
為替換算調整勘定	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△23
その他の包括利益合計	△41
四半期包括利益	592
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	583
非支配株主に係る四半期包括利益	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「リユース店舗事業」「ブックオフオンライン事業」の2区分から単一セグメントに変更しております。この変更は、「ひとつのBOOKOFF」構想のもと、ネット販売システムの導入でリアル店舗販売とオンライン販売の融合が進捗したため、セグメントを統合することが、より取引実態に即した経営成績を表示すると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。